

子供の安全
女性の安心
そして
実戦危機管理

安心安全

International safe safety society

協会報



東京オリ・パラの年—— さらに確かなネットワークを!

東京オリンピック・パラリンピックの年。世界中から大勢の人がやって来ます。その人たちと共に「安全な日本」を世界に発信できるか。さらに国際化が進む中、地域の「安心安全」の確保、確認をしていくことができるかどうか。今年の大きなテーマです。より確かな「あんしんネットワーク」が求められているのです。

工場団地内のパトロール目的は?

左写真、昨年5月に設立されたフイリピン支部

のパトロール隊の活動の様子です。草むらさ指さして

何をしているのでしょうか?

実は猛毒蛇ハブ退治です。

場所はマニラ南方約30キロ

のカビテ州ダスマリニャス

市の大きな工業団地「ファ

ースト・カビテ・インダス

トリアルエステート」です。

そこにある日本語・職業技

能学校の有志学生によるパ

トロール隊で、協会の「安

心安全」ベストを着て毎

日、工業団地内を巡回して

います。

パトロール隊が通常行っ

ているのはゴミ拾い、掃除

をしながらの巡回です。揃

いのベスト着用によって

「安心安全」の呼び掛け、

注意喚起も、日本語学習中

の学生や日系企業で働く人

たちに行っているのです。

最近、パトロール・メン

バーに「ハブ退治の名人」

のいることが知られ、目撃

情報があると、すぐ要請が

入り、それでパトロール隊

が出動することが多くなっ

ているそうです。

こうして日比交流と「あ



工場団地内を巡回するフイリピン支部のパトロール隊(上) 新潟支部では長野観光社交事業連盟のみなさんと合同で活動(下)長野市権堂P4参照

埼玉県支部設立



支部の旗を掲げて(東武建総本社)

春日部市に

昨年12月、埼玉県春日部

市に当協会の埼玉県支部が

設立されましたので報告し

ます。

支部長 西山暢一

(協会常務理事)

副支部長 岡 圭之

(有限会社東武建総

代表取締役社長)

〒344-0053 埼玉県

春日部市梅田本町2-4-3

有限会社東武建総 内

電話048-753-3667

んしんネットワーク」の担
い手のパトロール隊に新し
い活動項目が加わりました。

寒風にひるまず 夜間パトロール

「暖冬」と指摘されてい
ても、この時期の夜の風は
肌を刺すようです。東京・
城北支部(豊島区南大塚、



飯部光一支部長)のみなさん、そのな夜間パトロールもつづけています。

同支部は5年ほど前から

安全な通勤通学のために夜

間の巡回活動を行っていた

栗嶋・大塚のパトロール隊

が中心になって設立されま

した(平成28年)。支部では、

地元町内会のみなさんとも

連携しながら、豊島区やさ

らに隣の文京区大塚の護国

寺や豊島岡墓地周辺のゴミ

拾いをしながらのパトロー

ルも行っています。

国際安心安全協会

当協会は、安心安全な生活・環境は、それを求める一人一人の取り組みと、同じ志をもつ人びとの連携、ネットワークがなければ実現しないとの考えにもとづき、自ら防犯・安全対策に取り組むとともに、安心安全を追求する国内外の人びととの交流と相互支援を進め、家庭、地域社会、ビジネスの世界など、あらゆるシーンで安心安全を実現することを目的に活動しているNPO法人です。

みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

役員一覧

- 顧問 毛利 就慶
- 顧問 大村 昭人
元帝京大学医学部長
- 顧問 神 洋明
弁護士(光和総合法律事務所)
元日弁連副会長 元第一東京弁護士会会長
- 顧問 早乙女 立雄
元NTTインターナショナル取締役
元共立建設常務取締役
- 顧問 渡邊 省蔵
元千代田スバック㈱社長
元トルコ三井銀行㈱社長
- 顧問 朝賀 昭
元内閣総理大臣秘書
- 顧問 榎本 哲也
弁護士(エクセル国際法律事務所)
- 会長 池田 勉
元警察庁・平和相互銀行副社長
元太平洋クラブ社長
- 理事長 佐伯 英隆
京大名誉フェロー、元通商産業省
元島根県警察本部長
- 専務理事 藪崎 英源
R&C総合研究所CEO、元警視庁
- 常務理事 西山 暢一(埼玉県支部長)
元警視庁・滝野川・田谷警察署長・
上海領事
- 常務理事 立石 照雄
元警視庁・第二機動隊隊長・公安三課
課長・四谷警察署署長
- 常務理事 柚木 晃
元警視庁・警備部警護課理事官(首相官邸)
蔵前警察署長・四谷警察署長
- 理事 児玉 皓雄
理学博士、元電子技術総合研究所所長
(㈱AIRI)会長
- 理事 飛岡 健
現代人間科学研究所所長
- 理事 小野 千賀子(大阪支部長)
元東京音楽大学校友会本部長
- 理事 荒牧 知子
公認会計士、国立研究開発法人審議会委員
- 理事 波多野 容子
ハタノシステム取締役会長
世界の子供たちを護る会会長
- 理事 河本 博隆
元通産省・特許庁審査第一部長・金石協副会長
- 理事 岩間 哲士
㈱アクト代表取締役CEO(コンサルタント)
- 理事 服部 政雄(愛知県支部長)
元愛知県警交通部長・防犯部長・総務部長
- 理事 猪又 勝(新潟支部長)
元新潟県警新潟東署長・生安部長
- 監事 木村 茂雄
税理士、元東京国税局

世田谷区パトロール隊の 天道館50周年を祝う



世田谷区の三軒茶屋駅周辺を「子どもの安全・女性の安心」「国際安心安全協会」の旗を掲げてパトロールを行っている合気道天道館。その天道流合気道(清水健二(管長)が、昨年創立50周年を迎えました。

それを祝って10月21日、東京・白金台の八芳園において創立50周年祝賀会が開かれました。参加者が約300人。海外からの門人も多数出席する国際色豊かな会々、協会からも参列、お祝いをしました。

天道流では50周年の記念冊子も作成、そこで、「安心安全パトロール」についての報告、紹介もしています。

祝賀会では、天道流が会の直前にドイツはじめ欧米など20カ国からの約250人を集めて静岡県下田市の観音温泉で世界セミナー合

宿を行ったことなどが報告されました。同合宿は毎年行われているそうですが、記念の年だけに参加者が例年の3倍近くになり、その多くが祝賀会にも参加したとのこと。

そのなかで清水管長の弟子の一人という俳優、歌手の武田鉄矢さんがいて、祝賀会ではお祝いの歌声を披露していました。

本紙でもこれまで報告しているように道場のある三軒茶屋でおなじみになった天道館のパトロール隊は、海外から稽古に訪れた門弟も一緒に回っています(上の写真)。

なお、清水管長は「諸外国との文化交流と友好親善に多大な貢献をした」として、平成14年に外務大臣表彰を受けています。

罪認知件数の多さが指摘されることもありましたが、区内三警察署や地域ボランティアの活動などにより、自転車窃盗などを激減させ、その数字は大幅低下しています。

私たち安心安全パトロール隊も、これまで「小岩フラワーロード」と「サンロード」の巡回を行ってきたが「昭和通り商店街」は初めてです。その名の通り、昭和色の濃い、さまざまな個人商店が軒を連ねる庶民的な通りです。

パトロールは駅前から進み、柴又街道と斜めに交わる角の銭湯「友の湯」を折

私は昭和53年に警視庁に入庁し、約36年半の間、東京都の治安維持、都民の安全・安心を担う仕事をして参りました。

拙い経験ではありませんが、内閣官房内閣情報調査室に出身し、危機管理対策にも携わりました。

警視庁の現職の頃、安全・安心まちづくりの推進が強力に図られ、犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するために、自分たちの住む街を自分たちで守ろうと、多くのボランティア組織が形成され、日夜、街の安全を見守り、地域の安全確保の要として活動され、大変お世話になったことが思い出されます。

防犯ボランティアの方々のパトロール活動等の自主防犯活動は、多くの地域で

常務理事就任の「挨拶」

柚木 晃

各種犯罪の減少という大きな成果として現れました。しかし、昨今凶悪な犯罪、悲惨な事件が急増し、更には不意の事故・天災によって国民の安全・安心は脅かされています。

このような治安・災害等に対する不安を取り除いて「安心して生活・仕事ができる安全な環境・社会」を取り戻すことが喫緊の課題になっております。

この度、国際安心安全協会の常務理事に就任させていただきます。大変微力ではありますが、安心・安全な環境・社会を取り戻し、確保するための目的意識をしつかり持ち、各種運動を積極的に推進して明るい健全な社会の実現に寄与していく覚悟です。どうぞよろしくお願いたします。

平成16(2004)年10月 国際安心安全協会設立。
平成18(2006)年10月 内閣府から特定非営利活動法人として認証を受ける。
同年6月 愛知支部設立。同支部が千代田橋学区で「子どもの安心・安全を守り隊」活動。
平成19(2007)年1月 ホームページ開設。
同年5月 NPO法人中部日本プロ・アマゴルフ振興会と相互協力合意(提携第1号)。
女性の情報マガジン「ビー・ダメージ・プレス」(6月号)で女性が身を守る手段等のアドバイス。
同年11月 第1回全体会議開催。
平成20(2008)年3月 NPO法人マンハンド・ネットワークと相互協力合意。
同年5月 フィリピン大使館と共催で第1回世界の子供達のためのチャリティコンサート。
四川大地震チャリティコンサート。
同年7月 南米支部設立。
平成21(2009)年10月 新潟支部発足式。同支部で防犯講習会開催。
同年12月 「SHOWA 歌のフェスティバルvol.14」協賛。
平成22(2010)年1月 新潟支部「育て! ガキ大将を育てる会」にチャリティ収益金を寄贈。
同年7月 NPO法人愛のポイント協会と相互協力の合意。
同年11月 北欧視察団派遣(佐伯ミッシェン)。
平成23(2011)年3月 世田谷地区の要請を受け「パトロール編成要領」をホームページにアップ。

協会活動用ベスト作成。東日本大震災の被災地支援の活動開始(会員のYTCドリム塚原正行氏らの気仙沼地区支援活動など)。
同年6月 大阪支部、東京支部開設。東京支部などで巡回警備活動(世田谷あんしんパトロール)など開始。
同年7月 世田谷区役所に「あんしんパトロール」の活動報告。岩手県の「ひかみの湯」ボランティアグループに協会活動用ベスト寄贈。
同年9月 警視庁に非常信号灯360本寄贈。
平成24(2012)年4月 福島県会津地方の仮設住宅で会員の香取文隆医師が訪問診療開始。
同年6月 福島県いわき市の仮設住宅で「歌手夏川アキさんと住民のひととき」開催。協会事務局が福島県中通り、浜通りの仮設住宅視察、住民インタビュー。
同年11月 福島市の仮設住宅で夏川アキさんのミニコンサート。
労働調査会の依頼で加納常務理事「企業の安心安全」と反社勢力の動向の講演。「事務局セミナー」開始。

平成25(2013)年3月 理事会で機関紙発行承認。女性の2理事新任、副理事長新設(佐伯理事就任)。
同年6月 第4回全体会議(右写真)。
同年7月 新潟県支部、新潟市関谷浜で海浜内パトロール開始。
同年9月 協会報「安心安全」創刊。
同年12月 合気道天道館、パトロール隊編成。
平成26(2014)年2月 協会報「安心安全」新春号発行。
同年3月 愛知支部、青色回転灯付パトロールカー導入。

下町の人情に触れた 師走のパトロール

江戸川
支部

江戸川支部が昨年暮れ(12月中旬)、令和元年最後のパトロールとして行ったJR総武線小岩駅付近の巡回報告をします。小岩駅はご存じのように東京の東端の駅。江戸川を挟んだ隣は千葉の市川です。

参加者は4名、平均年齢63歳でした。メンバーの都合で、この日は高齢者だけの文字通りの「シルバーパトロール」になりました。

午後3時、小岩駅北口に集合。向かったパトロールコースは駅反対側の南口から伸びる「昭和通り商店街」です。

小岩駅南口の街並みは、

駅を背に小岩を象徴する「小岩フラワーロード商店街」(再開発で高層ビルも建つ両側アーケードの商店街)、その左側に今回の「昭和通り商店街」と「サンロード商店街」、合わせて3つの繁華街が駅前からほぼ放射状に伸びています(さらに左の総武線沿いに「地藏通り」という飲食店中心の路地もあります)。

それぞれ特色ある昼夜の「顔」を持ち、小岩の街を彩っている通りです。インターネットなどにはよく「ディーブな街」などと書かれる歓楽街としての古い歴史もある小岩です。「犯



折り返し点の「友の湯」は鉄道模型ジオラマのある銭湯です。鉄道マニアには

非常に有名で、「小岩駅周辺の観光スポット・観光名所」にも選ばれている老舗の銭湯です(写真)。

私たちがその前でひと息ついていると、たまたま入り口にいた「友の湯」のおかみさんが、「寒いなかご苦労さん」と言って、ホットコーヒーをふるまってくれました。

ごちそうさまでした。思いがけず、下町の人情に触れた心も体も温まる師走のパトロールとなりました。

(支部長・白坂敬三)



平成26年度事業開始。
同年6月 新潟県支部が海浜パトロール(9月)。





防犯ブザー110個を 小学校に寄贈

愛知県支部

名古屋千種区で学区内を見回る「子どもの安心・安全を守り隊(氏原実隊長)」の活動などを行っている愛知県支部。昨年は、地元千代田橋小学校に防犯ブザー110個を寄贈しました。同校長には「守り隊」の活動報告なども行っています。



千代田橋小学校校長(左)に防犯ブザーを(氏原隊長)(上)登下校時には守り隊の活動(下)

ここ十年ばかり、新聞であれ、テレビであれ、個々のマスコミの政治的な主張や立場が、紙面や番組の作り方に、より一層、露骨に表現されるようになって来たと感じる。少し前までは、多少なりとも政治的中性の「仮面」か「お化粧」くらいはしていたように思うが、今やそうだった「タガ」が外れ、それぞれのマスコミ毎の政治的な傾斜をより先鋭化させている。

結果的に、読者や視聴者はマスメディアの報道とは「そういうモノだ」と認識するようになり、それならば、ということ、自分の



政治的な性向に合ったような記事を選んでいるメディアを自由に選択し、自分の気に入った記事しか読まなくなり、また、そういう記事しか読まないことで、右にせよ左にせよ、読者自身も次第にその立場が先鋭化して、お互いに「ネットワーク」「パヨク」と罵り合う。同時に、読者や視聴者は新聞紙という紙媒体やテレビの

理事長 随感

マスメディアとネットニュース ジャーナリズムが自ら招いている危機

画面を離れ、より選択の自由と幅が広いネットという世界に不可逆的に移行していつている。新聞の購読者数は徐々に、しかし確実に減っている。「テレビ離れ」も深く静かに進行中である。若者はテレビの画面を見るよりは、スマホの画面を見る時間の方が圧倒的に長い。このように一連の「危機」に関し、

筆者は失礼ながら、マスメディアを担う人々に対する同情心はない。なぜなら、その原因の半分は、技術の発展に伴う自然な「世の流れ」であり、残りの半分は、そのような方向に舵を切った彼ら自身の選択の結果だからである。出来事の実態だけを羅列したのでは記事にならない。その「事」の意味や背景と

背景説明や見通しに至るまで、記者の主観的要素の影響は避けられない。これはテレビの報道番組の構成でもそのままではまる。同時に、多くの読者や視聴者を長期にわたって引き付け、影響力を保ち続けるためには、主観的要素を可能な限り排除して、中立的な「外観」の維持を心がけるべきだろうが、世論を「正しい方向に誘導する」のがジャーナリストの使命とばかりに、記事や報道に「角度」を付け、主観的な感想を述べたり、何をニュースとするかを決める自由、言い換えれば「報道しない自由」を駆使し、独自の「マス」メディアであることを自ら放棄してしまっているように思える。

では、ネットによるニュースの取得で問題はなにかというとそういうわけにもいかない。ネット空間には、記事の占める場所、面積や活字の大きさで通常表現される「重要度の指標」が一切ない。何が重要と考えるかは読者に任されているので、各自が重要と考える事項だけをクリックして追いかける結果、世論は両極端化し、かつ先鋭化していく。また、ネットのニュース欄に、そもそもどの事項をニュースとして掲載するかを選択が極めて重要になってくる。

例えば、あるネット配信事業者のニュース欄は、一時、特定の極端な政治的主張をすることで知られているタブロイド紙の記事を頻りに掲載していたが、このように決定を、誰が、どのようなプロセスで行っているのだろうか。今日、実際に世論形成に最も力を持っている人は、大手新聞社の論説委員でもテレビのワイドショーのメインキャスターでもなく、ネットニュースの管理者、より具体的に言えば、「何をネットニュースに掲載するかを決める人」であろう。その人は名前も判らず、目に見えず、それ故、批判を受けることもない。その人には多分「ジャーナリスト」という自覚もないであろう。

- 同年7月 協会報「安心安全」夏号発行。池田勉理事長の緊急アピール「子供を被害者にするな!」
- 同年11月 川崎で、安心安全パトロール隊(子どもを守り隊)編成。
- 同年12月 協会報「安心安全」年末年始号発行
- 平成27(2015)年2月 宮城県岩沼市で安心安全パトロール隊編成。
- 熊本市山鹿市で安心安全パトロール隊編成。
- 同年5月 「子供の安全、女性の安心」全国大会in愛知開催(写真左)。
- 同年7月 協会報「安心安全」平成27年夏号(「子供の安全、女性の安心」全国大会in愛知「特集号」発行)。
- 同年9月 福岡市において安心安全パトロール隊編成。
- 福岡県筑前町で安心安全パトロール隊編成。
- 名古屋支部の有志メンバーが一宮市と犬山市を安心安全パトロール。
- 同年10月 協力団体のNPO法人環境工学研究所メンバーが常総市の被災地(9月、台風18号による豪雨で被害)の1ヵ月後を視察、パトロール「安心安全パトロール隊」編成。実施要領を改訂。協会報「安心安全」平成27年秋号発行。
- 山口県支部設立。
- 同年12月 熊本市において安心安全パトロール隊編成(並木坂ドルハウス隊)。
- 防犯護身DVD監修。本部で東京消防庁のAED・救命講習。
- 平成28(2016)年1月 佐伯英隆理事長が東京恵比寿ロータリークラブの例会で講演(RCの「卓話」)。
- 協会報「安心安全」平成28年早春号発行。
- 同年2月 佐伯理事長、東京渋谷ロータリークラブで講演。
- 同年3月 佐伯理事長、西南ロータリークラブで「協会の活動と地域コミュニティの安心安全」講演。
- 同年4月 熊本地震発生。協会ボランティア担当部長ら派遣支援活動。
- 同年5月 上野・御徒町でパトロール隊編成、活動開始。
- 神奈川県・川崎支部発足。救済英源専務理事が国際ロータリー第2750地区クマネジメント講習。
- 同年6月 協会報「安心安全」平成28年初夏号発行。
- 同年7月 城北支部(東京)設立。
- 同年10月 協会報「安心安全」平成28年秋号発行。
- 大分県別府市で安心安全パトロール隊結成。
- 東京・三軒茶屋のパソコンスクール「キュリオステーション」で安心安全パトロール隊結成。
- 平成29(2017)年2月 協会報「安心安全」平成29年早春号発行。
- 同年6月 協会報「安心安全」平成29年初夏号発行。
- 同年9月 「子供の安全、女性の安心」全国大会in東京開催決定
- 同年10月 江戸川支部(東京)設立
- 協会報「安心安全」平成29年秋号発行。
- 平成30(2018)年1月 「子供の安全、女性の安心」全国大会in東京開催(千代田区・憲政記念館。京都支部発足)。
- 同年2月 協会報「安心安全」平成30年早春(全国大会特集)号発行。
- 同年8月 協会報「安心安全」平成30年夏号発行。
- 同年11月 「インドネシアの歴史を探り、被災地や学校へ寄付をするボランティア」実施。
- インドネシア支部設立
- 同年12月 協会報「安心安全」平成30年年末・31年年始号発行。
- 平成31年3月 東久邇信彦最高顧問逝去。
- 令和元年5月 フイリピン支部設立。
- 同年7月 協会報「安心安全」令和元年夏号発行。
- 同年12月 埼玉支部設立。



協会報「安心安全」発行の様子



新潟県支部の昨年の活動報告です。主な活動はクリーンアクション(繁華街の掃除やごみ拾いを店の方々と行い街の健全化を進める)と防犯パトロール(町内会や店の方々と繁華街をパトロール)。そして繁華街の活性化・健全化を目指して活動している「長野社交事業連盟」との合同クリーンアクションです。これらを踏まえ、今年も「安心安全」を目指す取り組みを進めていきます。

開催日	開催場所	参加人数	実施内容
2019年1月18日	クリーンA(アクション)新潟駅前・古町	8・6	前・古町 第7回長野観光社交事業連盟との合同クリーンA長野市権堂
2月15日	同・新潟駅前・古町	8・16	防犯パトロール古町クリンA新潟駅前・古町
3月15日	新潟駅前・古町	9・20	同
3月22日	防犯パトロール古町	9・27	防犯パトロール古町
4月22日	第5回長野観光社交事業連盟×当協会合同クリーンアクション長野市権堂	10・1	第8回長野観光社交事業連盟との合同クリーンA長野市権堂
4月26日	前・古町 防犯パトロール古町	10・18	前・古町 クリーンA新潟駅前・古町
5月8日	防犯パトロール新潟駅前	11・15	防犯パトロール古町
5月17日	クリーンA新潟駅前・古町	11・22	前・古町 防犯パトロール古町
5月24日	防犯パトロール古町	11・25	前・古町 クリーンA山梨
6月4日	第6回長野観光社交事業連盟との合同クリーンA長野市権堂	12・20	防犯パトロール古町
6月14日	防犯パトロール新潟駅前	12・20	前・古町 クリーンA新潟駅前
6月21日	前・古町		
6月28日	防犯パトロール古町		
7月19日	クリーンA新潟駅前		

長野観光社交事業連盟との合同クリーンアクション(下)

長野、山梨でも 新潟県支部 クリーンアクション

「安心安全パトロール隊」編成・実施要領

NPO法人国際安心安全協会

- 1 安心安全パトロールの目的**
私たちは安心安全なまちづくりのために「自分たちのまちを自分たちで守ろう」との自主防犯意識をもって、地域の人々とともに、ボランティアとして、自主的に、無理なく、できる範囲で、パトロールを実施していきます。
- 2 パトロール隊の立ち上げ**
①メンバーを集める。
・地域、職場、諸団体などでパトロールに参加できる人を募ります(年齢性別問わず。未成年者がパトロールをする際は必ず複数の成人が加わる)。
②責任者・まとめ役(リーダー)などを決める。
・責任者・まとめ役には、原則として当協会会員が提携・協力団体会員がなり、本部(支部)に報告して、「安心安全ベスト」の支給などを受けます(パトロール隊の立ち上げ後の入会や提携でも可)。
③パトロール隊の名称を決める。
・当協会の「安心安全パトロール隊」として活動しますが、名称(愛称)や計画などは独自に決めます(支部所属の場合、支部との調整も)。
- 3 パトロール計画**
①目的・重点目標などを確認し共通認識のもとに計画を策定する。
②実施区域(コース)、時間帯などを決める。
・1回1時間程度で歩いて回れる範囲に(小学校の学区などが一つの目安)。
・メンバーが増えたら複数のパトロール隊(グループ)に編成し、活動区域 回数などを増やします。
- 4 パトロール隊の編成**
①原則として2人以上、できれば3〜5人ぐらいを1チーム(グループ、班)として編成する。
②個々のチームのリーダーやメンバーの役割(写真・記録担当など)も決めておく。
- 5 パトロール隊の服装・準備**
①身軽で活動的、そして目立つ服装で行うこと。
・靴はスニーカーなど(被災地では安全靴なども)。
・当協会ベストの配布を受けている場合、必ず着用(ない場合は目立つ格好で腕章、タスキなど)。
②持ちもの(携行するもの)を用意。
・携帯電話(スマホ)1110番やメンバー間連絡。
・メモ・筆記具―危険箇所、不審人物などをメモ。
- 6 パトロールの実施**
①原則徒歩で行う。交通事故には十分気を付ける。
②出会った人には積極的に「声かけ・あいさつ」をして、パトロール中であることをアピールする。
③夜間パトロールでは、拍子木を鳴らして、パトロールをしていることを周囲に知らせる。
④犯罪、不審者などを目撃したら、すぐ110番!
⑤事故や不審者・車両、放置自転車、危険箇所など、気づいた点があればメモや撮影。
⑥終了後、日誌に「日時」「天候」「参加者」「コース」「記入者」「結果」「不審者・車両の有無、気づいた点、今後の注意点」などを記入。
- 7 記録と検討**
①「パトロール日誌」は、次回からの注意喚起、今後のパトロール計画の検討材料などにしていく。
②日誌の記録は当協会報などへの報告の基礎データにもする。課題は協会全体で共有(警察への連絡、情報交換の基礎データにも)。
③定期的にパトロールの効果を検証。実施コース・時間の見直し、追加なども行っていく。
- 8 メンバーの心得**
①無理せず、継続できる範囲で活動。
②メンバー自身が法規、ルールをしっかり守り、全員で安全を十分に配慮しながら取り組む。
③パトロールで知った他人のプライバシーは漏らさない(撮影や写真の扱いにも十分注意)。
④まちの変化についても注意を払い、気づいた点はパトロールにも活かす。
重要なことは、自分たちのまち・コミュニティの安心安全は自ら守る、みんなが安心安全に暮らせるまち・地域社会にしていこう―というメンバー一人ひとりの決意と心構えである。

安心安全ネットワーク

国際安心安全協会・本部支部一覧

本部
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-17-7 西新宿TOKビル
TEL: 03-5371-0456

愛知県支部 (服部政雄理事・支部長)
〒464-0001 名古屋市中区東千種台9-22
TEL: 052-896-1425

新潟県支部 (猪又勝理事・支部長)
〒950-0944 新潟市中央区愛宕1-4-7
TEL: 025-280-0887

大阪支部 (小野千賀子理事・支部長)
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目3番12号 天満橋リーブル6F
TEL: 06-6947-7670

山口県支部 (宇都宮陽一支部長)
〒745-0816 周南市遠石3-5-26-2B
TEL: 0834-33-9824

川崎支部 (横田正弘支部長)
〒213-0027 神奈川県川崎市高津区野川3796-2
TEL & FAX: 044-777-7389

城北支部 (飯部光一支部長)
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-45-6 TEL: 03-5952-1130

江戸川支部 (白坂敬三支部長)
〒132-0034 東京都江戸川区小松川1-2-906 TEL: 03-3638-7050

京都支部 (藤田幹夫支部長)
〒603-8144 京都市北区小山東花池町1-7 TEL: 080-3010-4603

埼玉支部 (西山暢一支部長)
〒344-0053 埼玉県春日部市梅田本町2-4-3 TEL: 048-753-3667

南米支部 (相馬英樹支部長)
アルゼンチン国ブエノスアイレス市 リバダビア街4509番2階36室
TEL & FAX: 5411-4983-8766 (8492)

インドネシア支部 (宅間誠支部長)
ジャカルタ市ジャランマスマンシユール シティーロフトスディルマンユニット722
TEL+62-021-2970-4039

フィリピン支部 (益岡Tony利光支部長)
カピテ州ダスマリニャス市ファースト・カピテ・インダストリアルエステート(グランドガーデン・ヴィレッジ)ヒサデザインスティチュート内
TEL+63-046-402-0845

提携・協力団体

- 特定非営利活動法人 ヒューマニティー
- 一般社団法人 芸術文化グローバルワークス
- 特定非営利活動法人 全国マンハンド・ネットワーク
- 特定非営利活動法人 中部日本プロアマ振興会
- 特定非営利活動法人 愛のポイント協会
- 歌工房 Bon Voyage
- 東京オペラプロデュース
- 特定非営利活動法人 トレフルクラブ
- 特定非営利活動法人 サクラエフ奉仕団